

DOC-No.	CONTENTS AND COMPLEMENT	E5. (B2E)	F6. (B2F)	H8-10. (B2G/H)	I10. (B2I)	J11-12. (B2J/B3J)	K13./ K14.	L15.	M16.
1	ICEのPOWER-ONからデバッグを起動するまでの間、P64/P65からハイレベルが出力されます。		-	-	-	-	-	-	-
2	割込み禁止(DI)状態で、特定の命令を実行すると割込み(EI)状態になります。			-	-	-	-	-	-
3	プログラムRUN中にSFRをアクセスすると、ごくまれに不正なイリーガルブレークが発生する場合があります。			-	-	-	-	-	-
4	SFRウィンドウ上のSFR値がずれて表示されます。(ND-K422Hとして使用した場合)					-	-	-	-
5	タイマレジスタの読み込み値が不正になる場合があります。						-	-	-
6	コンペアレジスタの一致割り込みが正常に発生しない場合があります。						-	-	-
7	UARTの送信時、スタートビットがかける場合があります。						-	-	-
8	IDILモード解除時に、発振安定時間(発振安定時間設定レジスタ値)分、余分に待たされる場合があります。						-	-	-
9	uPD78402xの限定サポートを中止します。(仕様変更)	- (B2E)	- (B2F)	- (B2G/H)	- (B2I)	- (B2J/B3J)			
10	リアルタイムRAMサンプリング機能において、不正なデータが表示されます。 <発生条件> 高速フェッチモード(IFCHレジスタ=1)で、内部RAMアクセス命令とレジスタ命令を連続実行した場合							-	-
11	ICEに拡張エミュレーションメモリ(NE-105)を接続して使用した場合、不正なコードがフェッチされることがあります。							-	-
12	トレース・サーチの不具合(1) トレース・サーチ・ダイアログで設定した検索条件が、トレース・ウィンドウに存在しても検索されない場合がある不具合を改善します。	×	×	×	×	×	×	×	-
13	レース表示選択の不具合 トレース表示選択ダイアログのピックアップ選択エリアで「Pick Up BRM1 Frame」を選択した場合、表示されないIBRM1フレームが存在する不具合を	×	×	×	×	×	×	×	-
14	トレース・サーチの不具合(2) トレース・サーチ・ダイアログで「Data」を「Mask」設定にした場合、「AccessSize」の設定が無効となります。このため「AccessSize」の設定に関わらず「Data」に設定した値全てを検索してしまう不具合を改善します。	×	×	×	×	×	×	×	-

- : No problem : Bug (Corrected by version upgrade) × : Bug (Not corrected by version upgrade)

DOC-No.	CONTENTS AND COMPLEMENT	~ D4.	E5.	G7.-9.	H9.	I10-12.	J13.	K14.
1	ICEのPOWER-ONからディバッガを起動するまでの間、P64/P65からハイレベルが出力されます。		-	-	-	-	-	-
2	割込み禁止(DI)状態で、特定の命令を実行すると割込み(EI)状態になります。			-	-	-	-	-
3	プログラムRUN中にSFRをアクセスすると、ごくまれに不正なイリーガルブレークが発生する場合があります。			-	-	-	-	-
4	SFRウィンドウ上のSFR値がずれて表示されます。(ND-K422Hとして使用した場合)					-	-	-
5	リアルタイムRAMサンプリング機能において、不正なデータが表示されます。 <発生条件> 高速フェッチモード(IFCHレジスタ=1)で、内部RAMアクセス命令とレジスタ命令を連続実行した場合						-	-
6	ICEに拡張エミュレーションメモリ(NE-105)を接続して使用した場合、不正なコードがフェッチされることがあります。						-	-
7	トレース・サーチの不具合(1) トレース・サーチ・ダイアログで設定した検索条件が、トレース・ウィンドウに存在しても検索されない場合がある不具合を改善します。	×	×	×	×	×	×	-
8	レース表示選択の不具合 トレース表示選択ダイアログのピックアップ選択エリアで「Pick Up BRM1 Frame」を選択した場合、表示されないIBRM1フレームが存在する不具合を	×	×	×	×	×	×	-
9	トレース・サーチの不具合(2) トレース・サーチ・ダイアログで「Data」を「Mask」設定にした場合、「AccessSize」の設定が無効となります。このため「AccessSize」の設定に関わらず「Data」に設定した値全てを検索してしまう不具合を改善します。	×	×	×	×	×	×	-

DOC-No.	CONTENTS AND COMPLEMENT	~ H10.	I11.	J12.	L14.-16.	M16.	N17-19.	O20./O21.	P22.
1	ICEのPOWER-ONからディバッガを起動するまでの間、P64/P65からハイレベルが出力されます。		-	-	-	-	-	-	-
2	UPD78421xA対応			-	-	-	-	-	-
3	割込み禁止(DI)状態で、特定の命令を実行すると割込み(EI)状態になります。				-	-	-	-	-
4	プログラムRUN中にSFRをアクセスすると、ごくまれに不正なイリーガルブレークが発生する場合があります。				-	-	-	-	-
5	SFRウィンドウ上のSFR値がずれて表示されます。						-	-	-

6		リアルタイムRAMサンプリング機能において、不正なデータが表示されま す。 <発生条件> 高速フェッチモード(IFCHレジスタ=1)で、内部RAMアクセス命令とレジスタ ICEに拡張エミュレーションメモリ(NE-105)を接続して使用した場合、不正 なコードがフェッチされることがあります。								-	-
7		ICEに拡張エミュレーションメモリ(NE-105)を接続して使用した場合、不正 なコードがフェッチされることがあります。								-	-
8	ASM-03- 090	P02における内蔵プルアップ抵抗を接続する機能をサポートしておりませ ん。	×	×	×	×	×	×	×	×	×
9		トレース・サーチの不具合(1) トレース・サーチ・ダイアログで設定した検索条件が、トレース・ウインドウに 存在しても検索されない場合がある不具合を改善します。	×	×	×	×	×	×	×	×	-
10		レース表示選択の不具合 トレース表示選択ダイアログのピックアップ選択エリアで「Pick Up BRM1 Frame」を選択した場合、表示されないIBRM1フレームが存在する不具合を	×	×	×	×	×	×	×	×	-
11		トレース・サーチの不具合(2) トレース・サーチ・ダイアログで「Data」を「Mask」設定にした場合、 「AccessSize」の設定が無効となります。このため「AccessSize」の設定に関 わらず「Data」に設定した値全てを検索してしまう不具合を改善します。	×	×	×	×	×	×	×	×	-

- : No problem : Bug (Corrected by version upgrade) × : Bug (Not corrected by version upgrade)

8 - 2. NDK PRODUCTS (ASMIS 78K4 BUG LIST: バグ・リスト)
 (16BIT DEVELOPMENT TOOL: ASMIS 78K4 SERIES)
 EXPAND EMULATION MEMORY : NE - 105

Date: December 7, 2004

	DOC-No.	CONTENTS AND COMPLEMENT	~ A4. (1.A002)	B5. (1.B003)	C6. (1.C004)
1		エミュレーション・メモリ上のプログラムで奇数番地から始まるワード命令をフェッチした際に正しくフェッチできない場合がある。		-	-
2		ICEに拡張エミュレーションメモリ(NE-105)を接続して使用した場合、不正なコードがフェッチされることがあります。			-

SCREEN DEBUGGER : NS - 78K4 ----- Discontinued

	DOC-No.	CONTENTS AND COMPLEMENT	D3.	E4./E5.	F6/F7 (V2.1)
1	ASM-96-05	画面サイズ(80桁)を越えるような長いシンボル表示を行うとハングアップ		-	-
2	ASM-96-07	RUN__N実行後STOPキーを入力し、すぐにCTRL+F・6キー(RESET)を入力すると、何もキーを受け付けない。		-	-

- : No problem : Bug (Corrected by version upgrade) × : Bug (Not corrected by version upgrade)

DOC-No.	CONTENTS AND COMPLEMENT	A1.	B2./C3.	D4.	E5./F6. (V1.41)	G7. (V1.42)	H8. (V1.47)	H8. (V1.51)
1	マッピングで64Kと1Mをまたがる設定(0-7FFFetc.)をした場合ロードできなくなるプログラムがある。		-	-	-	-	-	-
2	64K以上のROMをもつデバイスの64K以上の部分を書き換えられない。		-	-	-	-	-	-
3	ターゲットの使用選択をウインドウで選択できない。		-	-	-	-	-	-
4	マッピング設定時にTargetがエミュレーションメモリ領域内でしか設定できない		-	-	-	-	-	-
5	クオリファイトレースした場合に抜けているフレームがある。			-	-	-	-	-
6	クオリファイ、区間トレースをした場合、ブレークポイントのアドレスで停止しない場合がある。			-	-	-	-	-
7	μPD78403xシリーズで、アクセスできないSFRがある。			-	-	-	-	-
8	STOPモードに入った時に数十秒ウインドウが停止する。			-	-	-	-	-
9	ステータスバーの表示が一部誤っている。			-	-	-	-	-
10	メモリWindowでレジスタ領域を書き換えても、レジスタWindowに反映されない			-	-	-	-	-
11	区間トレース条件に、統合イベント(シーケンシャル)が指定できない。			-	-	-	-	-
12	トレースダイアログで、クオリファイ条件として登録できたトレース条件が、Set Trcで設定できない場合がある。(エラーを表示してしまう)			-	-	-	-	-
13	EXPC.INI修正ツールNWSET.EXEを追加。			-	-	-	-	-
14	ブレーク要因が複数F/Wから返ってくると、表示される要因が変化してしまう場合がある。			-	-	-	-	-
15	ターゲット使用/外部電源使用(低電圧)設定時、064のエラーを表示して起動できない。			-	-	-	-	-
16	ターゲット未接続(ユーザー電源未使用)、起動時のターゲット使用可否ダイアログで「ターゲット使用」を、選択するとエラーを表示してしまう。			-	-	-	-	-
17	Windows環境変数のサイズが大きい場合に起動しない。				-	-	-	-
18	長い環境変数が設定されている場合に起動しない。				-	-	-	-
19	内部のRAMロケーションの自動設定(ファイルダウンロード時)および、コンフィグレーション・ダイアログでの途中変更が出来ない。				-	-	-	-
20	アセンブラで定義したビットシンボル関連の参照/書き換え、イベント設定の不具合				-	-	-	-
21	ローカルシンボルの参照/変数登録(フォーカス外から)が出来ない。				-	-	-	-
22	Go&Go実行、ステップ実行中に長時間制御が返ってこない。				-	-	-	-
23	トレース表示性能が悪い。				-	-	-	-
24	アセンブラ・シンボルの配列登録が出来ない。				-	-	-	-
25	拡張オプションダイアログでソースウインドウのTABサイズを8カラムまたは4カラムを選択できない。				-	-	-	-
26	プロジェクト起動時のカレントウインドウがソーステキストウインドウにならない				-	-	-	-

27	ASCII形式での表示状態をプロジェクトファイルでセーブ/ロード出来な					-	-	-	-
28	プロジェクトファイルロードが終了するまで元のメインウィンドウが見えてい					-	-	-	-
29	プロジェクトファイル(変数WINを表示した状態でセーブ)をロードすると変 数WINとレジスタWinが同一座標に表示されてしまう。					-	-	-	-
30	ウォッチウィンドウのサイズを変更できない。					-	-	-	-
31	関数名からソースファイルをオープンできない。				-	-	-	-	-
32	ビットシンボルをイベント設定ダイアログで使用できない。				-	-	-	-	-
33	変数(SFR)を登録する場合、リターンキーでないと登録できないことがある。						-	-	-
34	タイマダイアログの表示時間が異なる値を表示する。						-	-	-
35	ステップ実行後のメモリウィンドウで、RAMサンプリング設定した領域の内容が "00"表示される。						-	-	-
36	一部の品種(デバイス)で「Illegal Magic Number」エラーになり起動しない。							-	-
37	ソースウィンドウでWatchボタンをクリックすると「一般保護違反」になる場合 がある。							-	-
38	変数をウォッチできない場合がある。							-	-
39	enum(列挙)型で定義された変数を変数ウィンドウに登録した場合に表示 がおかしくなる。							-	-
40	C言語を表示したソースウィンドウ上でブレーク設定できない場合がある。							-	-
41	メニューExecute->Returnで元の関数へ戻れない場合がある。							-	-
42	ウィンドウを何も開かない状態で実行し、ブレーク後にリセットを行った場 合、動作が不安定になる。							-	-
43	不正アクセスブレークした後の実行のブレーク要因は常にイベントブレーク になる。							-	-
44	ステップ実行中にリセット(リセットボタン、メニュー上のリセット)を行ってもP C値、SFR値に関連した表示はリセット前の値が表示される。再度、リセット を行うと正しく表示される。							-	-
45	Variable Windowにシンボル登録すると"Value"欄に文字化けしたような文 字が表示されて、値を見ることができない場合があります。								-
46	デバッグ終了時に、他のアプリケーションがアプリケーション・エラーにな る場合があります。								-

- : No problem : Bug (Corrected by version upgrade) × : Bug (Not corrected by version upgrade)